

授業科目	授業番号： 102			担当者	小亀 拓也
	日本語学概論			授業外対応	適宜対応（要予約）
	〔履修年次〕	〔学期〕	〔単位〕	〔必修／選択〕	〔授業形態〕
	1 年	前期	2 単位	必修	講義方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】日本語を研究する際や日本文学（特に古典文学）を講読する際に必要となる日本語学の基礎知識を学ぶ。</p> <p>【概要】日本語の各研究分野（音声・音韻，文字・表記，語彙・意味）について概観する。</p> <p>【到達目標】日本語学の基本的な考え方を身につけ，身の回りの言語現象について，的確に表現できるようになる。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 沖森卓也ほか『図解日本語』（第2版）三省堂</p> <p>(2) 授業中に紹介します。</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1 回 オリエンテーション：「日本語」か「国語」か。「日本語学」とは。</p> <p>第 2 回 現代日本語の音声と音韻 1：音声器官，音声記号</p> <p>第 3 回 現代日本語の音声と音韻 2：日本語の母音，母音の無声化，促音化</p> <p>第 4 回 現代日本語の音声と音韻 3：日本語の子音，調音点・調音法・声帯振動</p> <p>第 5 回 現代日本語の音声と音韻 4：音声と音韻，音素と異音</p> <p>第 6 回 現代日本語の音声と音韻 5：相補分布，条件異音と自由異音，特殊音素</p> <p>第 7 回 現代日本語の音声と音韻 6：拍（モーラ）と音節（シラブル）</p> <p>第 8 回 現代日本語の音声と音韻 7：アクセント，イントネーション，プロミネンス</p> <p>第 9 回 中間試験</p> <p>第 10 回 現代日本語の文字・表記 1：日本語の表記の特色</p> <p>第 11 回 現代日本語の文字・表記 2：漢字表，字音と字訓，漢字の成り立ち</p> <p>第 12 回 現代日本語の文字・表記 3：平仮名，片仮名，ローマ字</p> <p>第 13 回 現代日本語の語彙 1：語と語彙，語構成</p> <p>第 14 回 現代日本語の語彙 2：語種（和語，漢語，外来語，混種語）</p> <p>第 15 回 現代日本語の文法 3：語彙と語彙量（語彙の系統性，理解語彙と使用語彙）</p>				
授業外学習 （予習・復習）	各自事前にテキストを読んでくること。また，毎授業冒頭に復習小テストを行うため，復習が必要である。				
成績評価の方法	小テストの成績（25%），中間試験の成績（25%），定期試験（持ち込み可）の成績（50%）				
実務経験について	なし				

(注)教職必修